

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

若者育成の街◆取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インターン生募集中

台風被害の広がり と 復旧作業

町田市内を流れる鶴見川上流域の新鎧橋付近で、河川敷の複数の大きな立木が先の台風19号の大水によって根元から押し倒されていました。「次の大雨で河川に増水があった場合は、その立木が下流に押し流されて橋げたにかかったりして危険ではないか」という問い合わせを近隣住民の方から受けて、自分で現地を確認しました。



この河川は町田市が所管するものではないのですが、生活安全の立場では共通する事項と考え、町田市を通じて東京都にその処理を依頼しました。実施時期は明示されませんでした。倒れた立木の処理は東京都でいただく旨の回答がさっそく町田市を通じてありました。

さて、この鶴見川は、上流の町田市エリアは東京都が管轄し、それ以降の中流部分は神奈川県が管轄となり、最下流部分は国が管轄しています。この新鎧橋付近の担当は上記の管轄区分から東京都の管轄となり、直接的には東京都南多摩東部建設事務所（町田市、多摩市、稲城市を管轄）が把握するものです。梅雨の時期の前までには取り除きの処理がなされるでしょう。

現実は高齢者の市民税負担の方が大(3)

世代別納税額を調査する意思がない町田市

これまでは、果たして65歳上の世代は「生産年齢人口」ではなく、他の世代にお世話になる「従属人口」なのか？あるいは65歳以上の世代は、若者の税金で養われているのか？というラジカルな問いかけをしてきましたが、町田市は世代別の納税額を現した数字を発表しませんでした。理由は、その数字を算出していないというものでした。

これまでの議会の議論では、それで引き下がっていましたが、先進の三鷹市はそうした資料を抽出し、わかりやすいグラフにしており、少なくとも34歳以下の世代より、65歳以上のどの世代も納税額が多いことを知りました。そこで町田市に対して、会議の場ではなく、窓口レベルで、「そうした世代別の納税額の資料が本当にないか」と改めて問うと、「資料がないだけでなく、それを作る意思もない」という市民税の担当者の返事がありました。

私は、政治施策は感覚的に決定されるべきではなく、正しい数字をもとに議論して決定されるべきであると考えてきました。町田市民全体の納税数字は全て町田市が把握しており、それをビックデータとして処理すれば、簡単に世代別納税額など瞬時に表示されるはずのものだと思っています。今後の議会で説明する必要があると思っています。



若者育成が政治の基本であり、高齢者が納税でそれを支える

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや中学生の職場体験に先行実施する学生支援です

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-22

☎042-724-2171

「保守の会」派室

自宅 042-795-7361



FAX: 042-7957361

大人と子どもの対比 (権利と義務)

先日行われた成人式(二十祭まちだ)には20歳を迎えた若者が町田市立総合体育館の外に大勢集まりました。私は昨年に続き、赤十字奉仕団の一員として、ロビーの内外で献血を呼びかけるティッシュ配りの活動に参加していました。選挙管理委員(長)と明るい選挙推進委員の人たちも別途に成人記念撮影を通じて、投票のPRをされていました。

さて、成人は何歳からか、あるいは大人とは何歳から定義するのか、難しい時代に入りました。選挙権はすでに18歳からとなっており、町田市議会議員選挙が行われた平成30年(2018年)にはその18-19歳が20歳と共に選挙権(候補者を選ぶ権利)を得て、投票しました。但し、総数8,742人:投票者数2,497人:投票率28.56%!でした。町田市民全体の投票総平均42.35%!です。

また、2022年4月1日から民法上の権利・義務も18歳成人が適用されます。契約ごともその18歳から親の同意なく自分で行えることができ、自己責任というリスクも発生します。ただし、飲酒・喫煙・公営ギャンブルは20歳以上で権利が生じますが、義務ではないことを忘れないうで下さい。



献血呼びかけティッシュの配布を終え、成人式看板前で撮影

新生渋谷パルコの店づくり

「新生渋谷パルコの店づくり」(パルコ常務執行役の泉水隆さん)の講演を聞かせていただきました。2020.1.16 渋谷のカラート71の企画で、ユニバーサルファッション協会の関係で案内があったものです。

渋谷パルコは2019年11月22日に約3年の時を経てグランドオープンした新生「渋谷パルコ」のことです。池袋パルコオープンから50年を迎え、全く新しく生まれ変わった「次世代型商業施設」として、業界のみならず、一般にも話題になっています。近年の特徴では、こうした商業施設においては大きなスペースでフードに重点が置かれていますが、いかに趣向を凝らした飲食店舗を集約できるかが問われており、先日、訪ねた「渋谷スクランブルスクエア」や、地元のグランベリーパークとの対比も見つめてみたいと思いました。おしゃれ感を増すために、1Fの店舗構成に「東京」をテーマにした商店街スタイルの構成となっているそうです。ラグジュアリー商品を多数扱う店舗構成は多数のインバウンド客の来店を見込んでおり、郊外では難しいが、都心で上手に行くことのポイントの一つであるようでした。(後述)



★ 政党無所属・市議会は「保守の会」

yoshidaben@gmail.com

URL <https://yoshidaben.jp> 動画 <https://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)